

福井県原子力安全専門委員会への追加要望書
活断層3連動の地震動評価をなぜ改変したのか、関電に確かめてください
760ガルがなくなり、すべてが700ガル以下に

福井県知事 西川一誠 様
 福井県原子力安全専門委員会 各位 様

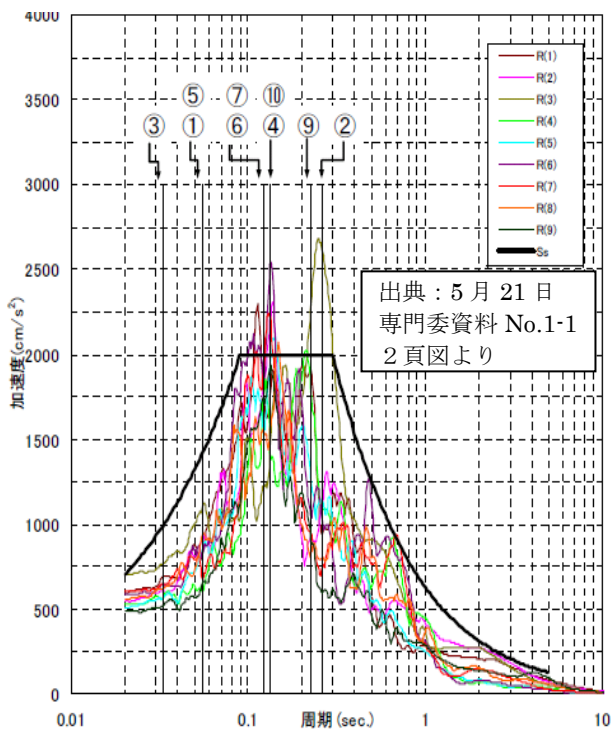
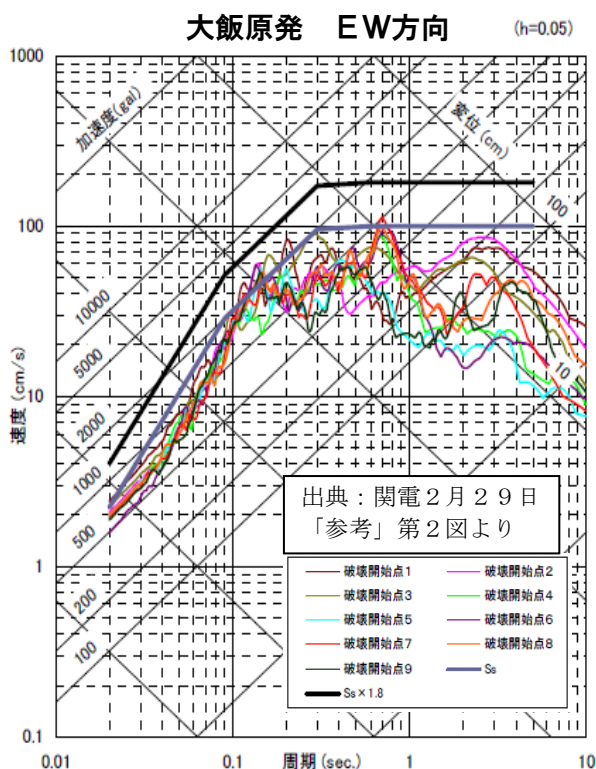
5月23日付の要望書に追加して下記について要望しますので、よろしくご考慮くださるようお願いいたします。

■活断層が3連動した場合の関電の地震動評価が、貴委員会5月21日資料No.1-1では、5月8日資料No.1-1から相当大幅に変更されていることについて

関西電力は、F0B-F0Aと熊川断層が連動（3連動）した場合の断層モデルによる地震動評価を2月29日に「参考」として国に提出し、その同じグラフが5月8日の貴委員会に資料No.1-1として提出されています（32頁）。

同じ地震動評価が、5月21日の貴委員会に資料No.1-1（2頁）として提出されたはずのところ、詳細に比較すると前の評価から大幅に変更されています。比較のためにEW方向のみを右図まとめました。

5月21日のグラフ（下側）には説明がないものの、グラフの色分けは上側と一致しています。上側ではえび茶色の線が周期0.02秒で700ガルのわずかに上であり、それが760ガル（正確には759ガル）を示しています。その線が下グラフではずっと下方に下がり、別の黄緑線が約



700ガルに到達しています。その他にも、各ピークの位置（周期）や高さ、その線の色（破壊開始点の違い）が前の上側グラフと大幅に異なっていることが分かります。

特に、注目すべきなのは、以前のグラフには周期 0.02 秒で 700 ガルを超えて約 760 ガルを示す線が 1 本あったことです。ところが、5 月 21 日のグラフでは、すべてが約 700 ガル以内に納まっています。760 ガルでは、従来の評価方法に立てば制御棒挿入時間が確実に 2.2 秒を超えるため、すべて 700 ガル内に納まるように改変したのではないかと疑われます。

そこで、以下の点について関電に確認して下さるよう要望いたします。

- (1) 地震動評価について、このような変更が行われたことは事実かどうか。
- (2) 変更が行われた場合、そのことについて 5 月 21 日には関電から説明がなかったようですが、なぜ説明しなかったのか。
- (3) 国の意見聴取会や 5 月 8 日の貴委員会に報告した内容と違えたことについてどう考えるのか。
- (4) 変更した理由はなにか。前の評価は間違っていたのか。
- (5) どのような変更の仕方をしたのか。
- (6) その変更によって制御棒挿入時間はどのような影響を受けたか。
- (7) この変更した結果について国にはいつ報告したのか。

2012年5月25日

グリーン・アクション

京都市左京区田中関田町 22-75-103 TEL 075-701-7223 FAX 075-702-1952

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会

大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル 3 階 TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581